



組合 工業 組
会 委員 会
町 北 昭 和 区
山 北 昭 和 区
3-8-6 〒466-0006
愛 知 県 板 金 工 業 組 合
発 行 行 廣 報 委 員 会
名 古 屋 市 昭 和 区 北 山 町
3-8-6 〒466-0006
電 話 052-732-1226

平成14年度

第3回理事会開催

14年度第3回理事会が2月10日午後3時より県板会館にて開催された。

出席者37名、欠席者が10名であった。村上理事長が挨拶した後ただちに議事に入った。

(1)委員長報告について

(総務委員会)

全板函館大会参加について説明

(広報委員会)

年間11回機関紙「愛板」を発行しており、12月を除く毎月末近くに編集会議を開いている。毎月各支部及び青年部の活動を「愛板」に掲載しているの

で、その報告書を担当広報委員(東三支部 松浦)までFAXで期限内に返信してほしい。

「全板新聞」「愛板」が

支部に届いたら、すみやかに組合員に配布してもらいたい。

(技術研究委員会)

昨年、委員7名が雨水活用の勉強で埼玉県の平野工業を訪問した。

今後の活動として施工図のマニュアル化をした

い。

(技能委員会)

15年度の技能検定試験の説明会が3月4日開かれる。受験希望者を知らせてほしい。

(厨房空調委員会)

16年2月3日〜6日に東京ビックサイトで開催される空調機械展を見学する予定である。

(経営対策委員会)

来年から名古屋高速道路も別納システムが利用

できるので高速別納システムへの加入を促進したい。

雨水利用のアイデア商品である「水たまくん」の販売に協力する。県板に1個につき一五〇円の戻金がある。

(保証委員会)

14年度の「再講習会」を2月9日に岡崎技術工学院で行った。15年度は資格講習会を開く予定である。

保証書の発行件数では全国第2位であるが、申請者数は少ないので、1事業所1件は申請してほしい。

(厚生委員会)

県板共済の加入状況は1月現在で28事業所が新規加入し約4%向上した。目標は50%であるので今後も加入を勧めてほしい。

又、国民年金基金への加入も勧めしてほしい。

(2)全板連新板金会館建設負担金について

11月29日の全板連臨時総会にて1事業所1万3千円の負担をする事が決議された。その議決経過と他都府県板の取組み状況等の説明がなされた。

納入方法は15年9月30日までに1万円納入。残り3千円は16年3月31日ま

でとなっている。

これについて村上理事長は次の様に述べた。

「先日開かれた中板協常任理事会で、愛知県板としましては、この納入期限までには納入できない旨の意見を述べたが理解を得られなかった。結論的には全板連総会で決定された事項であるので、今更覆すことは出来ず、これに従わなければならない。

4月開催予定の次回理事会で負担金の徴収方法について検討したいので、各支部で方法を考えてほしい。」

(3)県板賦課金値上げについて

12月26日開催された常務理事会において月額3百円の値上げ案が了承されている。これをうけて本理事会に提案されたところ、反対意見は無く承認された。これにより15年度賦課金は月額2千3百円とし、年額2万7千6百円に決定した。

(4)2005年全板愛知大会日程について

前夜祭 05年5月26日(木)会場は名古屋市内のホテルを予定
大会 05年5月27日(金)ポートメッセなごや
第1回実行委員会を2月

21日に開催する。

(5)全板函館大会について
全板連から参加募集期限の変更通知があり、それにより県板申込期限も2月28日に変更した。

(6)特別会員制度について
あらたにこの制度が作られることになり、その規約と趣意書が示された。規約を抜粋すると

(目的) 建築板金に関連する技術の発展と高度化、材料・部材の進歩と多様化に伴い、愛知県板金工業組合の構成員に、関連する事業者を特別会員とし、パートナーとしての緊密な連帯のもと相互に情報・意見の交換を行い、転変する情勢に対応するとともに、斯業の健全な発展に寄与することを目的とする。

(事業) 特別会員は次の事業に参与する。

①理事長より要請による各委員会への参加
②官公庁並びに各種公的調査機関等からの諮問・調査への協力
③当組合により官公庁等への建議・陳情等についての協力
④情報交換・助言等に関しての理事会等の出席
⑤通常総会・臨時総会への出席

⑥新製品発表・勉強会・研修会・各種イベントへの参加
⑦その他、前条の目的達成のために必要な事業への参加

(会費) 年間費は1口3万円以上とし、口数は本組合と協議の上決定する。

(7)その他

・ファインスチールの普及
・ファインスチールとは新たに作られた名称で、従来のカラー鉄板・塗装鋼板のことである。大阪府板が府板名入りのチラシを作った。その費用は日鉄鋼板関係団体が負担した。愛知県板も同様なチラシを作る事になった。

・「水たまくん」商品説明取扱店 三井商会(株)
10個(箱なし)3万1千円(箱入り)3万3千5百円
・青年部より報告
現在の部員数は12支部180名であるが、尾張と名古屋ブロックには青年部のない支部が多いので、青年部の立上げに協力してほしい。

青年部の総会を4月13日に一宮市勤労福祉会館で開催する。

以上ですべての議事が終了し5時に閉会した。

高橋

二〇〇五年 第五十七回全板愛知大会

「実行委員会」開催

二〇〇五年に開催予定の全板大会を愛知県板が受入れに至る経緯に付いては「愛板・第三七八号」に掲載した。その中で、主催者（全板連）と開催板の間に立ち大会を成功に導く役割が全板興業であると記した。

平成十四年十月二十三日 全板興業篠原社長に來名願い組合会議室に於いて、篠原社長、JTB東京本社と名古屋錦支店の担当者三名、組合三役、事務局を交え大会日程・大会会場・前夜祭会場等について協議した。

大会日（別項参照）は來賓に招請を予定している地元県知事、市長、議會議員各位の議会日程や当県板組合理業の關係から五月二十七日を要望。

大会会場は愛知県板が事前に下調べした数ヶ所の中から「ポートメッセなごや」（金城埠頭）を提案した。その後「ポートメッセなごや」に全員で

移動し会場の規模、位置關係を確認の後申し分なしの内諾を得た。

予定会場は正面のメイソングートを入った所に573㎡の交流センターが中央にあり、その右側にある第二展示館6、576㎡を機械工具、資材などの展示場に、中央左側の第三展示館13、500㎡のうち四分の一を間仕切りして大会式典会場に当てる。

中央の交流センターも地元のお土産・物産品や展示物に活用できる。また建物の位置關係が一直線にあるため使い勝手がいいし雨の心配もない。会場への交通も名古屋駅から臨海高速鉄道が開通するので第二東名が整備されて来るからどの交通機関でも利便性はいい。駐車場も大型車小型車共スペースは十分あり、駐車場から会場までの距離も僅かである。

これまで横浜、神戸、

福島と近代建築の粋を結集した会場に比べると「ポートメッセなごや」は今一とは思いますが、効率性と会場経費が前者の約半額で済む事が、最低の経済不況の中では何よりである。

つづいて前夜祭会場を選定するためJR名古屋駅のツインビルの中にあるホテルの宴会場を見つけた。前夜祭会場についてはJTB錦支店に四社から見積を取るよう依頼中で出しだい審議して内定となる。

平成十四年十二月二十六日 常務理事会を開き、大会日程、会場等の方針を承認。会場使用申込みは受付期日がまだ先のため仮申請した。

05 全板愛知大会日程
平成十七年五月二十五日 準備 コマ作り
平成十七年五月二十六日 準備 搬入・設営
平成十七年五月二十六日 前夜祭 市内ホテル
平成十七年五月二十七日 全板大会 終了後搬出大会会場
「ポートメッセなごや」
(金城埠頭)
平成十五年二月二十一日 二〇〇五 全板愛知大会

第一回 「実行委員会」
全板愛知大会・実行委員会は財務・運営・企画の第一回合同委員会を開催した。

はじめに、村上理事長から委員各位に委嘱状を手渡した。

* 委嘱期間
自 平成十五年 一月二十一日
至 平成十七年 十二月三十一日

委員全員が顔合わせするのは初めての集まりであるため、役割分担など取組の方向が示されていない事もあって、各委員等活発な意見が出されたが纏まりのないものに終始した。今後、早急に各委員長、ブロック代表委員により財務・運営・企画の三委員会の役割と責任体制を明確にすることを決めたのち、それぞれの委員会活動が開始する。

これからの各委員会の準備状況などを逐次掲載して大会に向け愛知県板組合理業全体の機運を高めて行きたいと思う。

(S) 齋藤
ご意見、要望、提案
お寄せ下さい。

長谷川信俊氏 叙勲祝賀会

県板副理事長の長谷川信俊氏は多年にわたる板金業界の技能向上と後進指導に尽力した功績が認められ、昨年の叙勲において勲六等単光旭日章を受章された。

その祝賀会が2月12日に名古屋 Marriott シアホテルにて230余名が集い盛大に開催された。

長谷川氏は昭和58年より愛知県板金職業訓練校（現在愛知県板金技能専門学校）の校長に就任し、以後20年間にわたり後継者育成に尽力され、幾多の苦難を乗り越えて多くの訓練生を板金業界に送り出している。

定刻の6時より恩田副会長の開会の辞で始まり、発起人を代表して愛知県板金総合職業訓練協会の羽柴会長が挨拶された。

來賓として県議員の

浜田一徳氏、七宝町町長の条野章氏、県板理事長の村上章氏が祝辞を述べられた。

名南税理士法人代表の佐藤澄男氏の乾杯の音頭にて祝宴に入った。長谷川氏は奥様と共に各テーブルを回られ、出席者より祝福の言葉をかけられていた。

なごやかな雰囲気のもとアトラクションの民謡と日本舞踊が入り、会場内はいっそう華やかになった。

賑やかな宴も時間の過ぎるのは早く、万歳三唱につづき県板副理事長の高柳氏の閉会の辞にて終宴となった。



第25回 全国建築板金競技大会

2月8日(土)・9日(日)の両日、全板連・(株)板協青年部主催の競技大会が、静岡県富士宮市の「富士教育訓練センター」で開催された。

愛知県からは、一月の県大会で代表選手になった「技能競技の部(ZIC)」に砂塚耕二君、北河秀治君が「建築技術の部(NYAC)」に宇野勝義君の3名が出場し、全国の代表選手ZIC41名、NYAC11名と共に技を競いあった。

ZICの課題は、銅板で菱形の花器の製作(標準時間・四時間、打切時間・四時間三十分)、NYACは、築34年の平屋建て在来木造住宅のリフォーム工事で予算内で出来るリフォーム提案書と施工図

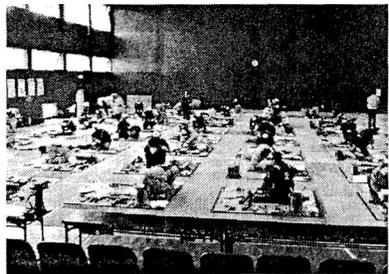


愛知県板金代表選手
右から 宇野勝義
砂塚耕二
北河秀治

の作成(四時間十五分以内)でした。

初日は受付終了後、開会式・記念写真・各会場にて競技上の事前説明(持参工具の点検・注意事項等)があり、開会式においてはNYACの選手代表として宇野勝義君が選手宣誓をした。

二日目は、付添者2名と応援4名が指定の場所から選手を見守る中、朝8時から競技が開始され、ZIC会場では道具に規制があるものの創意工夫したさまざまな道具があり、選手それぞれの意気込みを感じ、両選手とも標準時間内に完成した。NYAC会場は、競技時間を静寂に保つため会場内には入れないが、別



競技風景
(ZIC会場)

室から選手の背中越しに各自それぞれのアイデアを秘めている熱意が伝わり、最後の一分一秒まで競技をしていた。

競技終了後、昼食をさんで閉会式が行われた。その時の選手の表情は前日の険しい顔とはうってかわり、安堵感

第20回 \$ エスアイ研親会

(株)池田商店の \$ 研親会20回記念総会が、2月2日(日)に名鉄ニューグランドホテルにおいて開催された。

澤田隆一氏の司会により始まり、まず昨年亡くなられた方々のご冥福を祈り黙祷がさげられた。

齊藤充昭氏の開会の辞により総会に入り、代表幹事の沼澤啓二氏が挨拶された。議事に入り「14年度事業経過報告」「会計報告」が行われ承認された。

続いて、今年役員改選の年に当たり、柴田幸治氏が新代表幹事に選出された。

又、新幹事に松代一郎氏と今井文夫氏が選ばれ、柴田新代表幹事が挨拶された。これにより議事は終了した。

続いて池田商店社長、池田隆氏が挨拶された後、メーカー商社が紹介され、代表して東洋化学(株)名古屋支店・支店長

とやりとげたという充実感の顔に変わっていた。閉会式終了後、帰路についた。

大会中の2日間は、初日の夜間に雨が降ったくらいで、好天に恵まれ、富士山も雲に隠れることなく綺麗に見えた。

泉板青年部 宇野

中島雄雄氏が挨拶された。

最後に祝電が披露され、岩田明氏の閉会の辞により総会一部を終了し、第二部の講演会に入った。

講師にメジャーリーグ・アナハイムエンジェルス編成部(極東担当) タック川本氏を招き、メジャーリーグの華やかさに隠れてあまり聞か事の出ない内側の仕事について話して頂いた。

毎年、リーグ(30球団)には新人が2000人(ドラフト1500人、ドラフト外500人)がユースリーグに入団。この中でメジャーまで上がる素質のある人は五つの条件を持った者だそうです。

①ひるまない人、②ストレスを感じない人、③思っている事以上の事が出来る人、④自己満足しない人、⑤自分の得た物の一分を社会のために使う人。以上の条件を備えた

人が残るそう。また、裏の仕事としてメジャーリーグはショービジネスであり、球場内での商品売買や駐車場の売上げ、教育リーグでの野球以外の人間性の教育などに力を入れていくそうである。

タック川本氏は日米のテレビ・ラジオや雑誌などで活躍中で著書も数多くあり、今回「メジャーリーグの陰謀」「人生にコールド負けはない」など5巻ほどの即売が行われ、一時間半が短く感じられた。

続いて、席を移して第三部の懇親会に入った。出だしは西春方面に伝わる

沖村太鼓連の皆さんによる緑起の良い奉納太鼓の音と共に開宴、池田商店会長の乾杯の音頭によりコンパニオンを交えての和やかなパーティーとなった。そんな中、恒例となったビンゴゲームの後、ショー

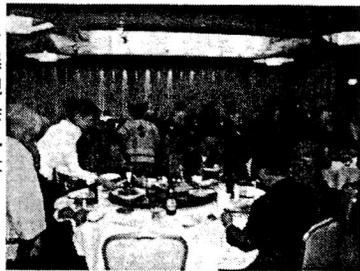


挨拶する沼澤代表幹事

タイムになり威勢の良い津軽三味線の音によって、神谷茂良、中野みち子、吉田やす子の三氏が紹介された。神谷茂良氏は地元、稲沢出身で津軽三味線に魅せられ、学生時代から全国大会で活躍、1994年から1998年にかけての津軽三味線全国大会にすべて優勝、神谷氏が主催する「三味線クリックス」のメンバー、中野みち子さんと共に、1998年フランス公演、2000年韓国公演と、現在津軽民謡の吉田やす子さんを交えて地元名古屋を拠点にし活躍中だそうです。

軽快でスピードと迫力のあるパチさばきは会場一同を魅了させ、拍手喝采で終了となった。中締めとして役員一同、段上り出て平野弘氏の三本締めにより \$ 研親会第20回総会が終了した。

熱田・南 伊藤



懇親会風景

岡崎支部 平成14年度 通常総会

2月23日(日)、レク・ワールド岡崎において平成14年度通常総会が開催された。

定刻の午後2時、村山副支部長の開会の言葉で開会され、高柳支部長が一年の総括、16年には支部が50周年を迎えることについて述べた。優良従業員表彰では、久世板金の久世明範君が表彰された。

議案審議は出席者55名委任状10名で行われ、14年度事業報告、会計・会計監査報告、15年度事業計画及び予算案が発表された。今年度は役員改選の年で、高柳支部長の再任のほか各役員が発表されて、すべての議案が承認された。



▶あいさつする高柳支部長

来賓挨拶では、県板理理事長・村上章氏、岡崎技術工学院院长・山本清氏、西三板金連合会会長・西保章氏、県板事務局長・青島直幸氏が挨拶された。

続いて、戸松副支部長によって平成15年度岡崎支部のスローガン、①全板大会ノ成功させよ②〇〇五年、③地球にやさしく分別リサイクル、④一人一件、挑戦しよう保証事業、⑤五〇周年、未来につながる板金業、が発表され閉会の言葉で閉会した。

休憩後、3グループに別れて「岡崎支部の今後のあり方」について特別討論会で意見交換し、グループごとのまとめ発表では、組合員が支部へのメリットを期待しすぎ、組合員と非組合員との差別化、役員との定年制など数多く意見が出た。特に全板新聞有料化では、中身を考えてほしい(広告・表彰者記事の減少など)といった意見が多く、広報委員としては耳がいたい意見だ。特別討論会終了後、例年の如く問屋を交えて懇親会に入り、趣向をこらしたゲーム、意見・雑談が飛び交う中、前幹事長・梅林氏の締めにて午後8時閉会した。

岡崎支部にとっては、16年の50周年事業、05全板愛知大会とビッグ事業が続く。

新役員 内山英臣 常任相談役 村山誠一



▶総会風景



▶新役員一同

換し、グループごとのまとめ発表では、組合員が支部へのメリットを期待しすぎ、組合員と非組合員との差別化、役員との定年制など数多く意見が出た。特に全板新聞有料化では、中身を考えてほしい(広告・表彰者記事の減少など)といった意見が多く、広報委員としては耳がいたい意見だ。特別討論会終了後、例年の如く問屋を交えて懇親会に入り、趣向をこらしたゲーム、意見・雑談が飛び交う中、前幹事長・梅林氏の締めにて午後8時閉会した。

西尾支部 平成14年度 総会

西尾支部は1月23日に西尾勤労会館にて総会を開催した。来賓として村上理事長、西保西三板金連合会長、青島県板事務局長が出席された。

村松氏の司会で進行し、議長に杉浦氏が選ばれ議事に入った。「14年度事業報告及び会計報告」、「15年度予算案」が承認された。続いて新役員が選出に移り次の様に決定した。

支部長 稲吉一義
副支部長 鈴木恵司

支部長 高柳一男
副支部長 加納重幸
久世明男
会計 戸松征孝
会計監査 沢田幸男
山本和義

幹事長 山内和夫
加藤哲夫
岡崎 宇野

総会終了後「香村」において懇親会を開き、田中屋、富士商店、角建材の3社にも参加していただいた。

▲太子講掛け軸の前であいさつする山崎支部長

刈谷支部 平成14年度 総会

刈谷支部は2月23日(日)14年度総会を三谷温泉「ホテル海陽閣」にて午後3時から開催した。

組合員20名中総会出席者は13名であった。

望月光三氏の司会により総会が始まり、望月大治支部長の挨拶の後、来賓として出席していた西三板金連合会副会長高橋銀吾氏と問屋代表の方に

御挨拶を頂いた。望月支部長が議長をつとめ、議事の進行となった。「平成14年度事業報告及び会計報告」が審議され承認された。

続いて「技能士会報告」「青年部事業報告」がなされた。次に、本年度は役員改選の年にあたるため、次期役員

選出となった。次期支部長は、長年副支部長を務めている若室氏が適任者ということで選出された。

全ての議事は活発な意見で審議がなされ、無事可決承認され閉会となった。

その後は会場を移し、恒例の懇親会が行われ、村上県板理事も到着され、午後6時より始まり、楽しい時間を過ごし親睦を深めた。

加藤



豊田支部

親睦ボーリング大会を開催

豊田支部は去る2月22日(出)豊田市元町の美鳥里ホールに於いて恒例の親睦ボーリング大会を開催しました。

参加者は18事業所・67人でした。ゲームは午後7時にスタートし2ゲームのトータルピンで順位を争いました。ゲーム終了後、場所をミートイングループに移して表彰式を行い男性の部1位福田益雄氏(福田板金)、女性の部1位赤池としえさん(赤池板金)、子供の部1位中根りょう君(中根板金)という結果になりました。私も、家族といっしょに投げさせていただきました。

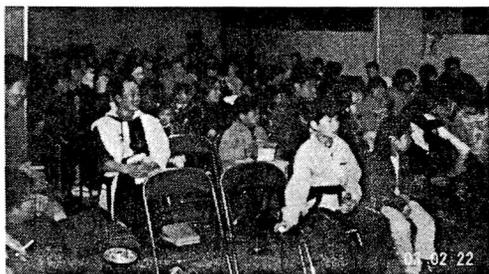
組合企画委員会(鈴木昭人氏・杉浦一義氏)の設営、健闘により多数の組合員さんに参加をいただき、横山興業(岡屋)様もたくさん参加していただきました。また、賞



一般優勝 福田益雄氏
女性優勝 赤池としえさん
子供優勝 中根りょうくん

品も盛り沢山(恒例のティッシュペーパーの多いこと)でした。参加された方全員が楽しまれたボーリング大会であったと思います。

豊田 松井



▶表彰式会場風景

2月各支部の動き

西支部

23日 定例支部会 13名

- ・05'全板愛知大会について
- ・水たまくん組合幹旋について

中村支部

15日 役員会 5名

- ・役員改選について

昭和支部

13日 支部会

瑞穂支部

1日 定例会 15名

- ・14年度支部総会について
- ・新役員選出の件

熱田南支部

20日 定例会

緑支部

18・19日 平成14年度決算総会
15年度新役員選出

瀬戸支部

2・3日 伊勢方面一泊旅行

春日井支部

8日 月例会 12名

津島支部

5日 定例会 12名

西春支部

16・17日 支部総会 28名

- ・14年度事業報告
- ・15年度事業報告

岡崎支部

5日 青年部役員会 9名

- ・通常総会及び新役員について

碧南支部

23日 青年部ボーリング大会 40名

会

刈谷支部

3日 定例会 18名

- ・支部総会について

豊田支部

8日 役員・班長会 17名

- ・第47回総会の件
- ・ボーリング大会67名

西尾支部

18日 役員会 19名

- ・理事会報告

知多支部

5・12日 青年部パソコン勉強会 13名

- ・総会打合せ

東三支部

4日 定例会 28名

- ・9日 リフォームフェア
- ・14日 青年部勉強会 8名
- ・(株)ニチハ見学

豊板青年部

25日 三役会 9名

- ・2日 第5回幹事会 14名
- ・全国建築板金競技大会について
- ・第24回通常総会について

編集後記

「第57回全国建築板金業者愛知大会」

これが2005年(平成17年)に愛知で初めて開催する、いわゆる全板大会の正式名称である。この大会の開催日と場所が決定し、第1回実行委員会が先日開かれた。いよいよ本格的な準備が始まろうとしている。

「愛板」は県板の機関紙として、組合員全員が一致協力して愛知大会を成功させよう、というムードを作っていたのかなければならない。その為にも全板大会関連の記事をできるだけ多く掲載したい。

前述の正式名称は長すぎるので、今回の号より「05全板愛知大会」と略して記す事にする。

大会まであと2年3ヶ月

二月二十五日(火) 晴

三八〇号 編集委員会

広報委員 五名 出席

午後五時半終了 高橋

▶表彰式

